

【移行スケジュール】

別紙 3

フェーズ	作業項目	実施時期（予定）	業務内容
① 推進体制の 立ち上げ	1-1 推進体制案の作成	～令和4年11月頃まで	関係部局を特定し、担当者・推進体制を構築
	1-2 関連部局との調整・担当者名簿の作成		
	1-3 首長等への報告		
② 現行システ ムの概要調査	2-1 現行システム環境の基礎調査	令和4年10月～令和5年2月頃	現行システムについて、業務システムの基礎情報、外部委託状況、 周辺機器、連携一覧等について調査
	2-2 連携一覧の調査・作成		
	2-3 移行に係る現行システムベンダとの打合せ・役割 の認識合わせ		
	2-4 概要調査結果の取りまとめ		
③ 標準仕様と の比較分析	3-1 標準化対象範囲の確認（標準仕様書と現行システ ムとを比較し調達範囲・単位の差異を洗い出し）	令和4年11月～令和6年度	標準仕様と現行システムとのFit&Gap分析を実施 標準仕様書と差異があり標準準拠システムの利用に向けて個別の対 応を要する項目があるかどうか確認
	3-2 Fit&Gap 分析による課題（運用見直しが必要な業 務等）の洗い出し		
④ 移行計画作 成	4-1 移行方針や調達範囲・単位の検討	令和4年10月～令和5年3月	作業項目②・③及び国における検討状況（標準仕様書の作成、ガバ メントクラウドの実装）等を踏まえ、府関係課、税機構等との必要 な調整を実施の上、標準準拠システムの移行計画を作成する。
	4-2 調達方式（指名型/公募型プロポーザル方式 or 総 合評価落札方式 or 最低価格落札方式等）の検討		
	4-3 調達スケジュールの検討（RFI、RFP、予算計 上、移行時期等）		
	4-4 移行にあたっての課題と対策の整理		

フェーズ	作業項目	実施時期（予定）	業務内容		
⑤ ベンダに対する情報提供依頼（RFI）資料の作成	5-1 RFI 資料の作成	令和4年10月～令和5年2月	RFIを実施するための資料を作成する。 標準準拠システムの影響を受けて更改を検討する標準準拠システム以外のシステムについても調達する場合は、同様にRFI用の資料を作成する。		
	5-2 標準仕様書のうち「実装してもしなくても良い機能」に関する方針（求める機能の整理、優先順位付け）の決定				
	5-3 標準準拠システム以外の情報システムに関するRFI 資料の作成				
⑥ RFI の実施	6-1 RFI 資料に関するベンダからの質問への回答		令和4年10月/令和5年10月/令和6年10月	作業項目⑤で作成した資料を基に、ベンダにRFIを実施する。 現行システムでスクラッチを行っている自治体がRFIを実施する場合は、ベンダによる回答作成・デモンストレーション等に長期間要することに留意	
	6-2 ベンダからの RFI 回答受領				
⑦ RFI 結果分析及び移行計画の詳細化	7-1 RFI 結果の分析			令和5年4月～令和5年6月	作業項目⑥において収集した情報の集約・分析後、移行計画の詳細化・変更を行う。 調達単位を細かく分けてRFIを実施した場合は、情報の整理・分析に時間を要することに留意。
	7-2 移行計画の詳細化・変更				
⑧ 予算要求	8-1 予算根拠資料の作成	令和6年度～（ガバメントクラウド上に副本データを移行するまで）			標準準拠システムへの移行経費の予算要求を行う
	8-2 予算要求・財政部局等との調整				
⑨ ベンダへ提案依頼（RFP）	9-1 RFP 資料の作成		令和5年4月～令和5年6月		最終的な調達仕様を確定し、各ベンダへ提案依頼（RFP）を行う。 併せて、調達の方式にあった様式等（実施要領や評価基準）を作成する。
	9-2 RFP 資料に関するベンダからの質問への回答				
	9-3 ベンダからの RFP 回答受領				
⑩ ベンダ選定・決定	10-1 ベンダ評価の実施		令和6年度～（ガバメントクラウド上に副本データを移行するまで）	提案書、デモンストレーション、プレゼンテーション等の評価を通じて、標準準拠システム提供ベンダを決定する。	
	10-2 ベンダの選定・決定				
⑪ 契約・詳細スケジュール確定	11-1 ベンダとの契約協議の実施	令和6年度～（ガバメントクラウド上に副本データを移行するまで）		標準準拠システム提供ベンダと契約を行い、データ移行日等の詳細なスケジュールを確定する。	
	11-2 システム移行に係る詳細スケジュールの確定				
⑫ 特定個人情報保護評価（PIA）	12-1 特定個人情報保護評価（PIA）の実施	令和6年度～（ガバメントクラウド上に副本データを移行するまで）		特定個人情報保護評価書の作成及び個人情報保護委員会への提出やパブリックコメントを実施する。	

フェーズ	作業項目	実施時期（予定）	業務内容
⑬ システム移行時の設定	13-1 システム移行時の設定（標準準拠システムの運用方法の検討・確定、システムの機能確認等）	【令和6年度移行対象】 令和5年7月頃～ 【令和7年度移行対象】 令和6年4月頃～	標準準拠システムを基に運用のシミュレーションを行い、標準準拠システムの運用方法を検討・確定する。
⑭ データ移行	14-1 データクレンジングや文字の同定基準に関するベンダとの調整	【令和6年度移行対象】 令和5年7月頃～ 【令和7年度移行対象】 令和6年4月頃～	データ移行等について調整を行い、現行ベンダで既存データの整理・抽出を行う。その後、標準準拠システム提供ベンダにてデータ移行を実施し、データ移行結果を確認する。併せて、文字情報基盤文字への文字データ移行作業も行う。
	14-2 データクレンジングの実施		
	14-3 最終データ移行の実施・結果確認		
⑮ テスト・研修	15-1 テストの実施	【令和6年度移行対象】 令和5年10月頃～ 【令和7年度移行対象】 令和6年7月頃～	テストデータ準備、テスト及び確認を行う。 標準準拠システム提供ベンダより次期システムの操作等に関して研修を受ける。
	15-2 研修の実施		
⑯ 次期システムに合わせた既存環境の設定変更	16-1 既存環境の設定変更に向けた調整（必要機器の調達等）	【令和6年度移行対象】 令和5年7月頃～ 【令和7年度移行対象】 令和6年4月頃～	標準準拠システムと庁内ネットワーク接続、構築、端末整備等を行う。また、他業務とのデータ連携項目、ファイル形式、処理タイミング等を確認の上、データ連携のテスト・変更を行う。
	16-2 既存環境の設定変更（標準準拠システムと庁内ネットワーク接続の設計、構築等）		
⑰ 条例・規則改正	17-1 条例・規則の改正	【令和6年度移行対象】 令和5年4月頃～ 【令和7年度移行対象】 令和6年4月頃～	標準準拠システムを利用する場合の運用や出力される帳票等を確定し、議会日程を勘案しながら、必要に応じて条例・規則等の改正を行う。
⑱ 運用開始	18-1 運用開始ステータス		